

2024/12/23

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向(12月16日～12月20日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,431.0	1,453.0	1,428.0	1,451.4	+18.4
JPY/KRW	9.3353	9.3961	9.1692	9.2505	▲0.123
KOSPI	2,511.08	2,515.62	2,389.86	2,404.15	▲90.31

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇。14日（土）に尹大統領の弾劾訴追案が可決されたことで、不確実性の部分的な解消を受け1,431.0ウォンでオープンし、一時1,428.0ウォンの安値をつけるも、FOMCを控えた警戒感からその後ドル買いが進み1,430ウォン半ばまで上昇。その後も週半ばまでFOMCのタカ派な利下げを警戒した動きや、政情不安から1,430ウォン台で底堅い動きが継続した。FOMCでは予想通り利下げが決定されるも、来年の利下げペースが鈍化するとの見方からドル買いが進み、20日に1,453.0ウォンでオープン。韓国当局者からは口先介入が行われ、韓国中銀と年金基金の為替スワップ枠の増枠と期間延長が合意されるも為替相場への影響は限定的。株式が軟調推移する中、海外資金の流出も継続し、結局前週末比+18.4ウォンの1,451.4ウォンでクローズした。（韓国時間15：30）

今週の見通し

年内の主要イベントを通過し、取引材料に乏しい展開。先週末、米PCEデフレーターなどを受けて米国のインフレ圧力が和らいだことから、週初はドル高が小休止する展開が想定されるも、韓国政情不安に加え、タカ派な米FOMCを受けた来年の金融政策への不透明感が残るため、ドル/ウォンの下値は限定的となろう。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1430 ~ 1460	9.05 ~ 9.35	154.5 ~ 158.5

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 23日(月) 米 12月 カンファレンスボード消費者信頼感指数
- 24日(火) 米 11月 耐久財受注 速報値
- 米 11月 新築住宅販売件数
- 26日(木) 米 12月 失業保険新規申請者数
- 27日(金) 日 11月 鉱工業指数 速報値
- 日 12月 東京都区内CPI
- 日 11月 失業率

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。